



令和6年度 第2号
常磐野小学校 校長室だより
令和6年5月23日発行 文責 清川 秀一

学校教育目標

つながり、深まり、未来をつくる子

沖縄地方は梅雨入りしたようで、ずいぶん蒸し暑い日が増えてきました。先日、児童会活動「1年生を迎える会」を行いました。6年生に手を引かれて入場した1年生たちがひな壇に上がり、全校で「ドレミの歌」をアクション付きで歌いました。学年からはクイズや歌の出し物をして、最後に1年生が校歌を歌いました。すばらしい歌声で1年生が仲間に加わったことを実感していました。コロナ禍では全校集会ができませんでしたが、このような縦のつながりは、児童の成長にとって大切であると考えています。



その縦のつながりを作るため、本校の取組に「ときわぎ活動」があります。異なる学年の児童が小グループとなり、大きくは2つの活動「ときわぎタイム」と「フレンズデー」を行います。「ときわぎタイム」では学習した成果の個人発表になります。「フレンズデー」ではグループ遊びを行ったり、秋には「フレンズなかまラリー」として、学校中が遊び場になった楽しい行事を行ったりします。「ときわぎタイム」の中で、ほかの学年の児童から良いところを言ってもらい、自分もやればできるという気持ちになってもらえば、自分を好きになり、自尊感情が育っていくのではと考えます。「フレンズデー」では、クラスの友達以外の人と楽しくかかわることで、人を好きになり、コミュニケーションをとることが楽しくなるのではと考えます。そして、このときわぎ活動を引っ張るリーダーが6年生ということになります。最高学年としての大きな役割です。全ての学年の子ども同士がつながり、楽しみながら積極性・協調性を養う時間として、有意義にしていってほしいと願っています。

また、玄関の掲示板には各学年の学年目標を掲示していますが、それぞれの学年が大事にしたいことを掲げています。つながりやリーダーシップ、認め合う気持ちなど、大事な要素が盛り込まれています。各学年の横の繋がりを作っていくながら、ときわぎ活動では縦の繋がりを作っていくたいと考えます。

